



地球環境とともに

環境貢献活動

従業員の環境意識の向上や地域社会の環境保全を目的に、各地域でさまざまな活動を行っています。

各事業所における取り組み

■ 機密書類の社内裁断処理

Y-CITY（静岡県裾野市）では、年間約62トンの機密書類の処理を専門業者に処理委託をしていましたが、2017年度から矢崎ビジネスサポート（株）と連携し、社内のリサイクルセンターで裁断し機密性をなくすことで有価物として売却できるようにしました。これにより年間約18トンの廃棄物削減につながりました。また、これらの作業は、当社の特例子会社である矢崎ビジネスサポート（株）に勤める障がいのある従業員が担い、障がい者雇用促進にもつなげています。この取り組みはものづくりセンター（静岡県牧原市）と新見工場（岡山県新見市）でも採用され、さらに2018年度以降は天竜工場（静岡県浜松市）などでも実施予定です。



裁断処理の様子

■ 夜間照明による稲の光害防止

新越部品（株）の今庄工場（福井県南条郡）と上志比工場（福井県吉田郡）では、2003年から稲穂登熟期（7～9月）の夜間照明の消灯を始めました。新越部品の工場周辺には水田が広がっているため、街路灯などの夜間照明によって稲の生育が遅れる懸念がありました。このため、地域の皆様と相談しながら稲穂登熟期に工場内の夜間照明を消灯することにしました。



今庄工場周辺の様子

■ プラスチック使用低減に向けた啓発活動の実施

YIPL（インド）では、2018年5月、プラスチック使用による環境影響への理解や使用低減に向けた意識を高めることを目的に、「No プラスチック」をテーマとしたイベントを実施しました。このイベントでは、従業員35名が事業所周辺をサイクリングしながらプラスチック使用低減を呼びかけました。また、事業所近隣の子どもたちを対象にお絵かきコンテストを同時に開催し、優秀作品3点を表彰しました。このコンテストには20名の子どもたちが参加し、環境保全に親しむ機会となりました。



イベントの様子



お絵かきコンテストの様子

■ 小学校におけるゴミの分別教育

TMP（タイ）では、2018年6月、社会全体の廃棄物削減へつながる活動として、近隣の小学校を訪問し、ゴミの分別教育を行いました。当日は、工場で行っているゴミの分別方法や分別の大切さを伝えるとともに、学校での分別が簡単に行えるよう、ペットボトルやガラス瓶、缶などの分別ボックスを寄贈しました。



寄贈した分別ボックス